

大軍拡の前倒し「台湾有事発言」「核は必要」危険な高市早苗政権に 平和を守れ！ 軍拡NO！の声を大きく

2026年1月1日



新・アジサイだより

安藤はるみの

日本共産党青森県議会議員



田中泰宏弘前副市長と「賃上げ応援奨励金」について
意見交換



憲法9条つがる女性の会で戦争体験を
語って下さった花田洋子さん・佐藤朗子さんと



青森県東方沖地震住宅被害に対する対応・被災事業者への
直接支援を県に要請

SIDE-A



ひのえうま
情熱もつてやったるで
(はるみのワクワク川柳)

安藤はるみの活動日誌

- 12月16日 大学病院東側交差点朝街宣
- 16日～18日 県議団国内派遣調査(写真)
- 19日 安保法制廃止を求める19日行動
- 20日 戦争をかたり継ぎ平和の種を育てよう
- 21日 県議会報告会(写真)
- 23日 榊形朝街宣(写真)
- 24日 青森県東方沖地震に関する緊急要請(写真)
- 25日 商工会議所会頭、弘前副市長(写真)、
りんご協会会長(写真)、
JAつがる弘前組合長意見交換



朝の街で平和を訴える

はつとタイム



(国内派遣)

日本共産党県議団の3人は、2025年12月16日から18日まで「議
員派遣制度」の「国内派遣」を活用して長野県、新潟県、富山
県で調査をしてきました。●長野県では、長野県社会福祉協議
会が行っている災害時の医療ケア児家庭に対する電源確保と日
常的な信頼関係づくりについて。医療ケア児が福祉避難所に避
難した時に、電源確保のために電気自動車の手配され充電でき
る仕組みになっています。また、医療ケア児の理解促進のため
の子どもたち向けの紙芝居も作られていました。とても大切な
取り組みを学びました。●新潟県では、東京電力柏崎刈羽原発
について。むつ使用済み核燃料中間貯蔵施設は、この原発から
運び込まれています。私たちが行った時は再稼働を了承すると
した花角知事の判断を新潟県議会が追認するかどうか注目され
ている時でした。新規制基準に基づく工事や設備、作業員同士の
挨拶運動などの説明を受け、敷地内を車で案内してもらいま
した。一番気になっていた青森県に運び込まれ50年間保管され
た使用済み核燃料を、再処理してできたMOX燃料を同原発で使
う見込みについて質問すると「ない」とのこと。となれば再処理
されたプルトニウムと核のゴミがふえるばかりです。又、福島
第一原発事故の未解明なまま突き進んでいくことは許されませ
ん。●富山県では、全国小水力発電推進協議会代表理事をされ
ている神坂博亨富山国際大学教授を訪ね、富山市や土地改良区
が行っている小水力発電について講義を受け、現地を案内して
いただきました。先生より「1本の川を活用して水力発電をす
めると原発1基分のエネルギーを生み出すことができる」と
のお話に感銘しました。このあと県庁に行き自然保護課よりク
マ対策DX「Bアラート」についての調査をしました。人工知能
(AI)を駆使した監視システム開発の経緯などを聞きました。
青森県でも活用が始まっています。

発行：安藤はるみ

事務所 弘前市宮川2丁目3-2 電話0172-35-7021
9:00~14:00(土・日・祝日左記時間以外は留守電対応)

自宅0172-35-2270

Eメール ando-harumi@theia.ocn.ne.jp ホームページアドレス http://ando-harumi.com/
X(旧)Twitter 安藤はるみ 日本共産党 で検索 フォロワー918人

12月の相談件数2件
ホームページアクセス数150,105件

日本共産党青森県議会議員

安藤はるみの

新・アジサイだより

〔経済産業部〕

所管事項

問1 U・Jターナー者の創業支援について(企業立地・創出課)

(1)県内における昨年度のU・Jターナー者の創業実績について伺いたい。

答弁：令和6年度分の実績は223名で令和4年度以降3年連続で200名を超えとなった。さらに男女別、年代別、業種別をたすと男50.2%、女49.8%、年代で一番多いのが40代で35.4%、業種では飲食が29.6%で一番多い。

※U・JターナーのUターナーは出身地に戻る「ターナー」は地方に移住する「Jターナー」は出身地に近い地方都市に移る」

(2)U・Jターナー者の創業の推進に向けて、県はどのように取り組んでいるか伺いたい。

答弁：県内8市10箇所の支援拠点を設け、無料で資金繰りの助言を行っている。相談者数は200名になった。

★青森県の活性化と人口増に貢献いただけるよう更なる取り組みの強化を求めました。

問2 県内事業者の知的財産活用支援について(産業イノベーション推進課)

(1)県内事業者の知的財産活用促進に向けた県の取組と課題について伺いたい。

答弁：県では知的財産の活用等を推進するため平成24年4月に一般社団法人青森県発明協会との共同運営による青森県知的財産支援センターを開設し、県内事業者等

SIDE-B

アジサイ便りを読んだのご感想や、委員会などで取上げて欲しいことなどありましたらお寄せください。

に対して知的財産の普及啓発、保護や活用など知的財産に関するあらゆる相談にワンストップで対応している。

(2)青森県知的財産支援センターの支援状況とその成果について伺いたい。

答弁：本年9月のアンケート調査で、自社と知的財産権が関係があるかわからないと回答した企業の割合が3割を超えており、知的財産を自社の経営にどのようにかかしていくか、などの理解の促進が課題であると認識している。

〔観光交流推進部〕

問3 県産ナマコの中国向け輸出について(県産品販売・輸出促進課)

(1)本年7月に中国向けの輸出水産食品の認定施設が再登録されて以降の、中国向けの県産ナマコの輸出量について伺いたい。

答弁：日本から中国向けに輸出された本年7月以降のナマコの輸出量については本県産の塩蔵ナマコ約600kgが輸出された。

(2)県産ナマコの中国向けの輸出が事実上停止となっている状況の中、県として、県産ナマコの輸出が円滑に進められるように、国に対して、中国との交渉を加速化するよう要望する考えはないのか伺いたい。

答弁：農林水産大臣が中国側と技術的なやり取りを継続して、引き続き輸出の

円滑化を働きかけていく、とコメントしていることから県としては今後の進展を注視しながら適切に対応する。

問4 県産りんごの東南アジアへの輸出促進について(県産品販売・輸出促進課)

(1)令和6年度及び令和7年度りんごの輸出状況について伺いたい。

令和6年度りんごの輸出量は、3万202トンで前年比2%の減、輸出金額は約182億円で8%の増、国地域別の輸出量は台湾向けが全体の76%、香港が20%、タイやシンガポールなど東南アジアが4%。令和7年度産については前年同期比20%の減、現地で需要がある大玉が少なかったこと、産地価格が高値であった影響から前年を下回っている。

(2)令和7年度産りんごの東南アジアへの輸出促進に向けた県の取組について伺いたい。

県では主力の香港・台湾などに加え東南アジアの需要を拡大することとしており、関係団体と連携してタイやベトナムなど7か国で富裕層向け高級スーパーでの試食宣伝やSNSによる情報発信に取り組んでいる。

他に以下の項目を質問しました。

議案

●議案第25号 公の施設の指定管理者の指定の件 青森県立三沢航空科学館の指定管理者の指定について(観光政策課)

※今回の管理者は5期目の指定となり運営評価も形骸化しやすいこと。指定管理者となる団体3つのうち2つが営利を目的とする株式会社であり県立の施設を運営するのになじまないとして反対しました。

所管事項

●本県における全国通訳案内士の登録状況について(誘客交流課)

●雪対策について(地域交通・連携課)



＜議員派遣2日目＞
柏崎刈羽原発調査



＜議員派遣3日目＞ 鳥獣自動検出AI通報システム調査



左から吉俣・安藤・田端青森県議
火瓜弘子富山県議

はるみ事務所の風

昨年のアジサイ便り1月号を作成した日は、そうとう大雪だったようです。事務所の雪かきから一日が始まっていました。

今日2025年12月26日。まだ一回も雪かきしてないよ。怖いね。この後くるのかな大雪。(´ω´)

前回のはるみ事務所の風に、今女子に大人気のシール帳をオカンが持ってもいいの、と書きました。あの頃はかなりの熱量で欲しい！シール交換したい！！と思っていました、今はいらない。

じんわり大人の抑制が効いてきましたよ。

シールだけで我慢するもんね(￣ー￣) 葛原未来



＜議員派遣3日目＞
富山市小水力発電調査



＜議員派遣3日目＞
東町・東新町公民館
水力発電所調査



注目